
スカーレット

鳩梨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スカーレット

【Nコード】

N1598B

【作者名】

鳩梨

【あらすじ】

狂おしいほどに愛し、それゆえに誰も愛せ無くなった魔女の経緯。

私はどこかおかしいのだろう。

個性と言って割り切ることも、あるいはできるのかも知れない。

——けれど、私はダメだろう。

私は人を好きになることができない。

いや、違うな。好きになれないのではない。好きになってはいけない。愛してはいけない。愛されてもいけない。

いつからだっただろうか。

私は仲の良かった一人の友人を好きになった。抱いたその感情が恋愛感情だと言うことに愚鈍な私は中々気付かなかった。それでもその人と一緒にいるときの、なんと心地よかったことが。

知らぬ間に、私はあの人をよく探すようになっていた。いつも其処に来るその人が来ていないと、今日は来ないのだろうか。もしかして風邪ではないだろうか。ひどくなければいいけれど。そんな風に別に意識しているわけでもないのに、その人を探す。そして見つけられると人知れず安堵し笑いかける。

しばらくして、私はあの人が好きなのだ。そう気付いた。気付くとそれは狂おしいほどの愛欲の炎となって私を包んだ。私は思い切って告白してみた。いつまでもうじうじ悩んであの人を誰かに取られてしまう前に。この炎に私の身が焼き尽くされる前に。

あの人はいつもの快い笑顔で、そこに少し照れくさを交えながら、自分もだ。と言ってくれた。

嬉しかった。想いが通じたことが。あの人私を好いていてくれたことが。

あの人と恋人になれた私はそれこそ全てが満ち足りていた。特別

なことなんかなくてもいい。あの人の側にいて、あの人が私に笑いかけてくれて、たわいもないいつもと同じこと。だけどそれはとても愛しく特別なこと。

——嗚呼、けれどいつからだろうか。

私はいつしかあの人を私だけのものにしたくなった。

誰にも見せたくない。誰にも触れさせたくない。私にだけ笑いかけて欲しい。私だけを見て欲しい。私だけを考えて欲しい。私だけを——……。

けれど、それが独りよがりな我俣に過ぎないことは理解していた。だから必死にその感情を押し殺した。今のままでいい。今のままで十分に幸せじゃないか、と。

嗚呼、だけどダメだった。日に日に強くなるその思いはいつしか私という器に収まりきらなくなり、ついには、溢れ出してしまった。

永遠が欲しかった。

あの人の私への思いを永遠不変のものにしたかった。いつか私は考えてしまった。

——嗚呼、そうだ。ならば殺して、いつまでも一緒に居ようじゃないか、と。私への想いを抱いたままに殺して、もう変わらないようにしてしまおう。

その考えに気付いて私は愕然とした。何を考えているのだろう。

そんなことをしたって意味が無いじゃないかと。

けれど、その考えは想いとなり、私は知らぬ間にあの人の首に手をかけようとしていた。

すんでのところで私は首にかけようとしていた手を止めた。あの人から逃げることで。

そして……、気付いた。

人へ好意を向けられない。人の好意を受け取れない。人を愛せなければ愛されたくない。

嗚呼、なんてつまらない世界だろう。

嗚呼、こんな代用品の世界など、いつそ、滅んでしまえばいい。等しく灰に還るといい。

——私はこんな世界などいらない。

紅夜一の魔女・オルティシアの日記最後のページより

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1598b/>

スカーレット

2010年12月21日15時20分発行